

広報

はちおうじの教育

10.15

2018(平成30年)
No.96

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばたけ未来へ～

かがやけ、先生



中休みの時間、元気いっぱいの子どもたちと過ごす
第三小学校の山下圭先生^{やましたけい}。いつも笑顔あふれる先生
は、子どもたちの元気の源です。すべての先生と子ども
たちの笑顔が、かがやき続けられるように、よりよい
学校づくりをすすめていきます。

八王子市の電話相談

保護者の皆さん

総合教育相談室 ☎664・6949

小・中学生の皆さん

こども電話相談 ☎664・3665

子どものいじめに関すること

子どものいじめ相談電話 ☎620・7499

受付時間 月～金曜日(祝・休日を除く)午前8時30分～午後5時

24時間東京都いじめ相談ホットライン

☎ 0120・53・8288

24時間子供SOSダイヤル

☎ 0120・0・78310

なやみ言おう

メロディーが聞こえたら
子どもたちの見守りにご協力を

子どもたちの下校を見守るきっかけづくりとして、松任谷由実さんの「守ってあげたい」を
午後2時に防災行政無線で放送しています。



部活動指導員がより専門的な技術指導を(松木中学校)

部活動指導の負担軽減を

中学校の教員にとって部活動指導の時間は多くの割合を占めています。平成30年度から配置を進めている「部活動指導員」は、教員に代わり部活動指導や大会への引率が可能となるため、負担の軽減につながっています。さらに専門的な技能や知識をもち合わせているため、生徒にとっても部活動がより充実したものとなります。

加えて市教育委員会では「市立学校に係る運動部活動の方針」を策定。子どもたちにとって望ましいスポーツ環境を構築するとともに、更なる教員の負担軽減を図っていきます。

心身ともに健康に

日々の業務による疲労や心理的な負担から心と体の健康を損ねることがないよう、ストレスチェックや健康診断を実施。教員の健康管理を行うとともに、勤務実態や学校の衛生状況などの点検を行う体制を整備していきます。

また、学校ごとに選任した衛生推進者を対象に研修などを実施し、安全衛生への意識を高めます。さらには、ハラスメントの相談体制の充実、学校ごとの定時退勤日の設定など、心身ともに健康に働くための取り組みを推進していきます。



スクール・サポート・スタッフが校内の掲示物づくりをお手伝い(七国小学校)

働き方の意識改革を

教員の長時間勤務の解消に向け、校務支援システムなどのICTを活用することで、勤務時間を正確に把握し、適切に管理していきます。勤務時間内に業務を効率的・効果的に遂行するため、教員自身の意識改革も必要です。「タイムマネジメント」に関する内容を取り入れた研修を実施して、時間に対する意識の向上を図ります。

また、ライフ・ワーク・バランスを実現するために、実効性のある目標を学校ごとに設定。学校全体で働きやすい環境を整備していきます。

教員の業務を補助

教員には授業だけでなく、子どもに配布するプリントの印刷や運動会、遠足といった学校行事のほか、会議の準備など、多くの業務があります。それらの教員の業務を補助するために、市教育委員会では「スクール・サポート・スタッフ」を市立小・中学校に配置しました。教員でなくてもできるさまざまな事務作業をスクール・サポート・スタッフが担うことで、教員が今まで以上に子どもたちへの指導や教材研究などに専念できる時間を確保。質の高い学校教育をめざします。



七国小学校
むらかみ たけし
村上 剛志教諭

スクール・サポート・スタッフのおかげで時間に余裕がもてるようになりました。その分、子どもたちとより向き合えるようになり、教員という仕事にやりがいを感じています。

市立小・中学校における働き方改革推進プランを策定

健康で誇りとやりがいにあふれた先生に!

学校を取り巻く環境の複雑化・多様化に伴い、学校に求められる役割は拡大し、教員の長時間労働が大きな社会問題になっています。今号では、教員が心身ともに健康で、誇りとやりがいをもって働くことができるように策定した「市立小・中学校における働き方改革推進プラン」の内容を紹介します。

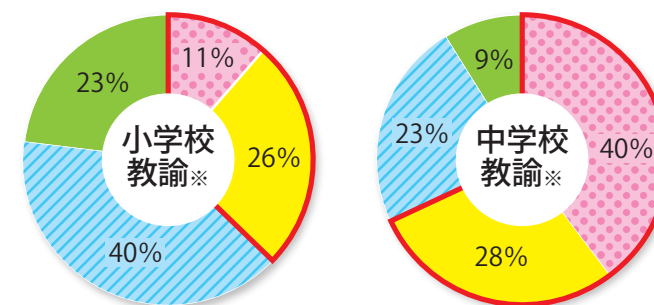
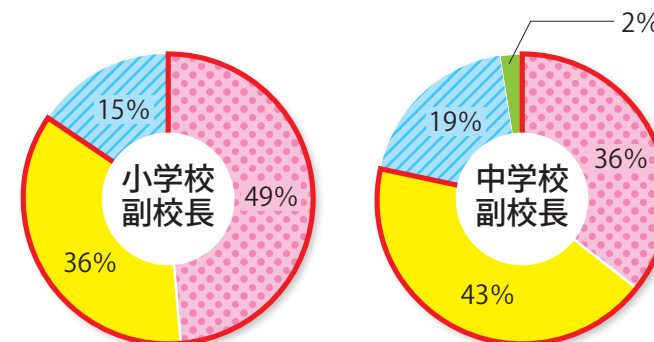
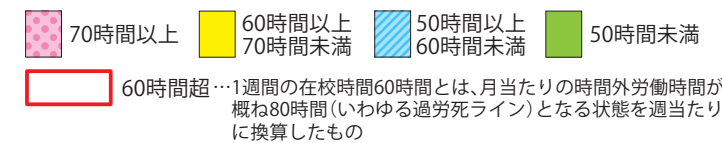
問い合わせ 教職員課(☎620・7404、☎627・8811)

詳しくは市のホームページをご覧ください。

「市立小・中学校における働き方改革推進プラン」



教員の1週間の在校時間



※本調査においては管理職、養護教諭を除く教員

「平成29年度東京都公立学校教員勤務実態調査」より

1週間の在校時間が60時間を超える教員を「ゼロ」に

平成29年6月に東京都教育委員会が実施した調査において、1週間の在校時間が60時間を超える、いわゆる「過労死ライン」相当にある教員が多数存在することが明らかになりました。特に副校長は在校時間の長さが顕著に表れており、早急な対応が求められています。

そこで市教育委員会では、教員の長時間労働を解消するため「市立小・中学校における働き方改革推進プラン」を

策定。目標を、1週間の在校時間が60時間を超える教員を「ゼロ」としました。限られた時間の中で子どもたちに接する時間を十分に確保するために、広範囲にわたる教員業務の役割分担の見直しや人員体制の確保に努めていきます。

また、教員の意識改革やライフ・ワーク・バランスの実現など、教員の働き方を改善し、働きやすい環境を整えていくことで、学校教育の質の維持向上を図っていきます。

保護者や地域の皆様へ

～よりよい授業のために～

教員の勤務時間は学校によって多少前後しますが、概ね午前8時15分から午後4時45分までです。学校への電話などによるご連絡は、緊急の場合を除き、できるだけ勤務時間内をお願いします。よりよい授業のために教員が少しでも翌日の準備などに集中できるよう、ご理解とご協力をお願いします。

教育委員会の動き

教育委員の就退任について

9月30日に任期満了により退任した大橋明教育委員の後任に、伊東哲氏が10月1日に就任しました。また、教育長職務代理者には村松直和委員が指名されました。

新教育委員あいさつ



このたび教育委員に就任いたしました伊東哲です。昭和32年に東京府南多摩郡由木村で生まれ、由木中央小学校、由木中学校で学びました。東京都立中学校の教員を13年間経験したのち、世田谷区教育委員会及び東京都教育委員会の人権教育や教員研修などの教育行政の仕事に携わってきました。現在は東京学芸大学教職大学院で、管理職をめざす現職の教員や教職をめざす若い世代の学生を指導しています。

八王子市は平成27年に都内で初の中核市に移行し、昨年は市制100周年を迎えた多摩地区のリーディングシティです。また、108の小・中学校に多数の児童・生徒が在籍しており、教育行政の責務は極めて重大であると認識しております。微力ではございますが、これまでの経験を活かし、幼少期にお世話になりました八王子市の教育の充実に向けて、少しでも恩返しをしてまいりたいと思います。

6回の会議を開催

平成30年7月から9月まで定例会を6回開催しました。主な内容をお知らせします。

【議案】

○平成31年度八王子市立中学校使用教科用図書の採択について

【協議事項】

○第3次八王子市教育振興基本計画策定にあたっての基本的な考え方について
○第4次読書のまち八王子推進計画の策定について

【報告事項】

○市有公共施設におけるコンクリートブロック塀の調査結果について
定例会は、公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。また、定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

今後の定例会開催日程(予定)

日時	会場
10月24日(水) 午前9時30分～	市役所本庁舎
11月14日(水) 午前9時30分～	
11月28日(水) 午前9時30分～	

問い合わせ 教育総務課(☎620・7323、FAX 627・8811) <

部活動結果

全国大会で活躍

夏休み期間中、市立中学校の部活動が全国大会で優秀な成績を収めました。

部活動の主な全国大会結果

学校名	部活動	大会名/成績
第一中	女子バスケットボール部	全国中学校バスケットボール大会/優勝
加住中	少林寺拳法部	全国中学生少林寺拳法大会 論文の部/最優秀賞
中山中	水泳部	全国中学校水泳競技大会 女子400m自由形/第2位
		全国中学校水泳競技大会 女子200m自由形/第3位



優勝を喜び、ガッツポーズ(第一中女子バスケット部の皆さん)

問い合わせ 指導課(☎620・7405、FAX 627・8811) <

はちおうじのオリンピック・パラリンピック教育

留学生と交流

柏木小学校では、オリンピック・パラリンピック教育の一環として、首都大学東京の留学生との交流授業を行いました。子どもたちは、留学生の出身国の文化や慣習などについて話を聴いたり、留学生にけん玉などの日本の昔遊びを教えたりして、お互いの国について理解を深めました。

問い合わせ 指導課(☎620・7405、FAX 627・8811)



日本の昔遊びの楽しさを伝えて

「はちおうじっ子ホームページ」で子ども向けに情報を発信しています。



こちらからご利用を

